

LPガス用

可変型中圧調整器 KM-105 KM-7

取扱説明書

製造元・販売元

株式会社 桂精機製作所

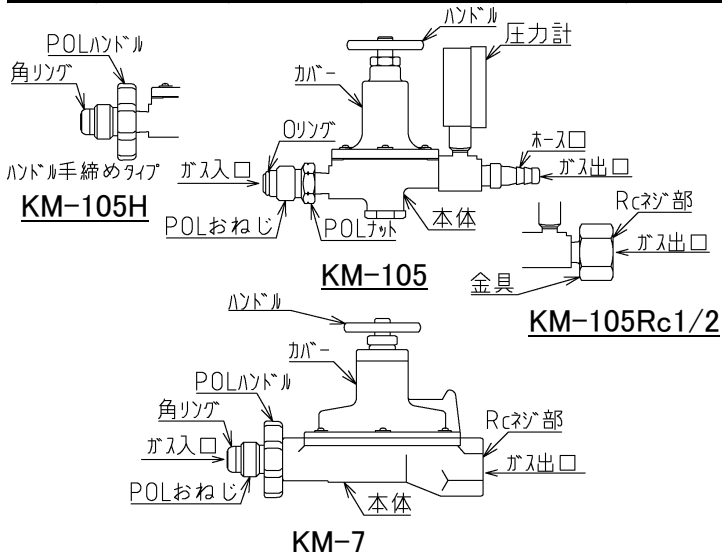
〒221-0052 神奈川県横浜市神奈川区栄町1番地1
アーバンスクエア横浜8階
TEL 045-461-2334(代)

1 製品説明

LPガス用可変型中圧調整器(以下調整器と呼びます。)は、工業用、業務用のバーナーに使用できるよう出口圧力が調整できます。下表に示す機種がありますのでバーナー等のLPガス消費量に応じ適切な容量のものをご使用下さい。

<主な仕様>

型 式	KM-105	KM-105 Rc1/2	KM-105H	KM-7
容 量(kg/h)	5			7
入口圧力(MPa)	0.15~1.56			0.1~1.56
出口圧力(kPa)	30~120			3~12
接 続	入 口	POLナット (スパナ締め)		POLハンドル (手締め)
	出 口	9.5mm ホース口	Rc1/2B (15A)メスネジ	9.5mm ホース口



LPガス販売事業者
LPガス工事施工者の
皆様へ

- 1、製品説明
- 2、安全のために
- 3、設備工事

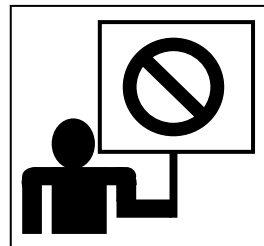
はじめに

この取扱説明書は製品説明・安全のために・設置工事・維持管理の順に作成してあります。

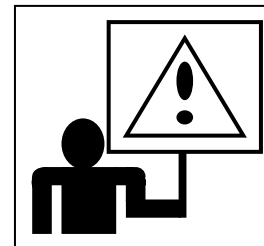
お客様に安全・快適にLPガスをご使用していただくため、液化石油ガスの保安の確保及び取引の適正化に関する法律、同法施行規則、告示並びに例示基準、LPガス設備設置基準及び取扱要領等の基準を遵守するほか、この取扱説明書を良く読んでLPガス設備の安全を図ってください。

なお、この説明書で や を付してありますが は禁止、 は警告又は注意を表したものです。

説明文における記号の見方



「禁止」



「警告又は注意」

2 安全のために

(1) この調整器はLPガス専用の調整器です。それ以外に使用すると機能が損なわれる恐れがありますので他の用途には使用しないで下さい。

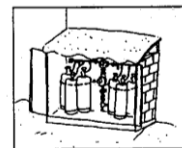
(2) この調整器は、工場で精密に組付けたものです。分解・改造するとガス漏れ等による事故発生の原因となります。絶対に改造しないで下さい。



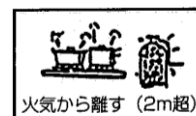
(3) この製品は衝撃を受けるとガス漏れ等の事故につながる恐れがありますので、絶対に叩いたりものを当てたり、重い物を落としたりして衝撃を与えないで下さい。



(4) 調整器を積雪・落雷の恐れのある場所に設置する場合は、収納庫等で適切に防護して下さい。



(5) KM-7調整器は圧力が異常上昇した際にガスを外に逃がすため安全弁を内蔵しています。火気から2m以上離れた屋外に設置して下さい。



(6) 屋内に設置する場合は通風の良い場所に設置して下さい。



(7) 屋外での常時使用となります固定配管による使用は避けて下さい。

3 設置工事

⚠ (1) 調整器の取付工事はLPガス設備士自ら施工して下さい。



⊘ (2) 火気に近い場所、炎や輻射熱を受ける場所には設置しないで下さい。



熱を受けるところでは使用しない

⊘ (3) 調整器は、有害ガス(例:アンモニア・亜硫酸ガス等)の影響を受ける恐れのある場所には設置しないで下さい。

⊘ (4) 調整器を配管等と接続する際には、ガス漏れ等の発生を防ぐため、ねじ部の切粉、切油、ゴミ等の異物を完全に除去して下さい。



接続部の異物を除去する

⊘ (5) 調整器の出口側のネジ接続には、接続するネジの先端2山を残し全周に耐LPガス性の不乾性シール剤、又はシールテープを使用して下さい。



2山を残す

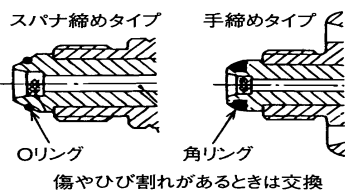
⊘ (6) 調整器の出口直近にドレーン抜きを取付けて下さい。又、KM-7調整器には圧力調整のため、適切な圧力計を取付けて下さい。

5 維持管理

⚠ (1) KM-105調整器には圧力計が取り付けられています。使用時、調整器入口に急激な加圧をしますと、圧力計の指示が狂ったり、破損をすることがあります。急激な圧力供給は行わないで下さい。

⚠ (2) 容器用バルブとの接続部からガス漏れを防止するため、調整器入口部のOリング(又は角リング)を傷つけないように注意して下さい。

⚠ (3) 接続部のOリング(又は角リング)に傷・ひび割れ・変形等の異常が発見された時には、ガス漏れ防止のため直ちに弊社製の新品のOリング(又は角リング)に交換して下さい。



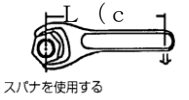
傷やひび割れがあるときは交換

⚠ (4) 調整器入口部のPOLねじに傷や変形があるものは、無理な力で締め付けずに、新品の調整器と交換して下さい。

⊘ (5) 安全のために調整器や容器の周囲に物を積み上げないで下さい。

⊘ (6) 容器用バルブに調整器入口を直結して容器交換を行う場合、POLねじ部の脱着前後に調整器本体を持って無理に位置合わせをすることは、ガス漏れの原因になりますので絶対にしないで下さい。

⚠ (7) 調整器を配管等に取り付ける際は、本体又は金具に無理な力が掛からないよう、本体スパナ掛部又は金具の二面幅にスパナを掛け、適切な力でねじ込んで下さい。締め付け力はRc 1/2で約44N・m、Rc3/4で約77N・m以下のトルクで締め付けて下さい。



スパナを使用する

⊘ (8) 配管用パイプレンチをスパナ代わりにして調整器を締め付けしないで下さい。



パイプレンチで締め付けない

4 使用前の点検

⚠ (1) 調整器の取付工事終了時には、必ず液化石油ガス法で定められたガス配管の気密試験を実施し、漏れないことを確認して下さい。

⚠ (2) 周囲に火気のないことを確認した後、配管内のエアパージを行って下さい。

⚠ (3) この調整器の調整圧力範囲は、仕様を示してある範囲内で使用して下さい。調整ハンドルを時計方向に回すと圧力が上がります。燃焼器具をご使用の場合は、その燃焼器具の適切な圧力に調整して下さい。

⚠ (7) 容器交換作業の終了後には、検知液等を用い調整器本体や容器との接続部からガス漏れのないことを必ず確認して下さい。



検知液で漏れの有無を確認する

⚠ (8) この製品の交換期限は製造後7年です。また、交換期限内でも性能に異常が生じた時は、新品と交換してください。